様式第２（第３条関係）

事業計画書

１．熱供給事業の開始の日以後５年内の日を含む毎事業年度における用途別の需要の見込み

２．供給能力の確保の見込みの考え方

３．工事の概要

(1) 熱発生設備

イ　ボイラーの種類、加熱能力、最大連続蒸発量、毎時換算蒸発量及び台数（温水ボイラーにあつては、種類、加熱能力、入口及び出口における水の温度、加熱された水の送出量並びに台数）

ロ　ヒートポンプの種類、加熱能力及び冷却能力、入口及び出口における水の温度及び加熱又は冷却された水の送出量並びに台数

ハ　冷凍設備（ヒートポンプを除く。）の種類、冷却能力、入口及び出口における水の温度及び冷却された水の送出量並びに台数

ニ　熱交換器の種類、加熱能力、入口及び出口における水の温度及び加熱された水の送出量並びに台数（蒸気発生用のものにあつては、種類、加熱能力、最大連続蒸発量、毎時換算蒸発量及び台数）

ホ　温水又は冷水の貯水槽の種類、貯水容量及び台数

ヘ　循環ポンプの種類、送出量及び台数

(2) 導　管

主要導管の内径別、温度別及び圧力別の総延長

４．概算工事費の合計

５．工事工程表

備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。